

「LRTまちづくりビジョン」の検討状況について

1 趣旨

JR宇都宮駅西側におけるLRTと一体となった官民連携のまちづくりビジョンとなる「(仮称) LRTまちづくりビジョン～LRTと一体となった都心部再生に向けて～」の策定に向けた検討状況について報告するもの

2 策定の目的

LRTの整備効果を最大限に発揮するため、都市全体の活力や発展をけん引する中心市街地等の沿線の目指すまちの将来ビジョンを描き、その将来ビジョンを市民・事業者・行政が共有しながら、関係者が一丸となってまちづくりを進める必要がある。

こうしたことから、市民・事業者との議論を深めながら、目指すまちづくりの将来像等を明らかにし、地元の機運醸成や取組の具体化につなげていくため策定する。

3 検討経過

平成31年3月 芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会

まちづくりを担う多くの関係者と連携・協力し、LRTと一体となったまちづくりを進めていくため、専門部会として学識経験者や交通事業者、地元商店街、行政等で構成する「LRTまちづくり部会」を設置

令和元年9月～ LRTまちづくり部会（計5回開催：令和元年9月・12月、令和2年2月・6月・7月）

LRTまちづくりに関する検討事項及びウォークアブルなまちづくりやスマートシティとの連携などに関する検討の視点を整理し、「(仮称) LRTまちづくりビジョン」について検討

【部会等での主な意見】

- ・ LRTを最大限に活用した宇都宮ならではの独自性を持ったまちづくりについて、関係者が共通認識を持って議論するためのイメージを示す必要がある。
- ・ JR宇都宮駅西側には、本市の歴史や文化が色濃く残っている特長があることから、駅東側との差別化を図るため、下町の文化を生かしたダイバーシティな（多様性のある）まちやウォークアブルなまちを実現すべきである。
- ・ 新型コロナウイルスの感染防止のための「新しい生活様式」を踏まえたまちづくりについて、今後の状況を見極めながら検討を行う必要がある。

4 これまでの検討内容（別紙参照）

LRTと一体となったまちづくりに向けて、目指すまちづくりの将来像等を市民・事業者と共有しながら、地元の機運醸成や取組の具体化につなげるための内容について検討を行っている。

【ビジョンの構成案】

〔これまでの検討内容〕

- ・ ビジョンの背景・目的等（ビジョンの背景・目的等の基本的事項）
- ・ 目指すまちの姿（目指すまちの将来像やまちづくりの方針など）

〔今後の検討予定〕

- ・ 実現に向けた取組イメージ（LRTと一体となったまちづくりを進める上での取組イメージ）
- ・ まちづくり実現に向けて（多様な主体の役割分担やまちづくりの進め方）

5 今後の取組

- ・ LRTまちづくり部会や芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会，地元まちづくり関係団体等との意見交換を行いながら，交通結節点（JR宇都宮駅，東武宇都宮駅等）周辺などのエリア別の取組方針や取組イメージ，まちづくり実現に向けた市民・事業者・行政の役割分担や今後の進め方などについて更に検討を進め，今年度を目途にビジョンの取りまとめを行う。
- ・ 「(仮称) LRTまちづくりビジョン」の策定後，地元まちづくり関係団体等とのビジョンの共有化を図るとともに，まちづくりの機運醸成を図りながら，ビジョンの具体化に向けた検討を進めていく。

「(仮称) LRTまちづくりビジョン ～LRTと一体となった都心部再生に向けて～」の検討内容

J R宇都宮駅西側におけるLRTと一体となったまちづくりに向けて、目指すまちづくりの将来像等を市民・事業者と共有しながら、地元の機運醸成や取組の具体化につなげるための内容について検討

【ビジョンの構成案】

【これまでの検討内容】

1 ビジョンの背景・目的等

LRTと一体となったまちづくりビジョンの背景・目的等の基本的事項を示す。

2 目指すまちの姿

目指すまちの将来像やLRTまちづくりの方針、エリア別の将来像などを示す。

⇒ 目指すまちの将来像等について、市民・事業者・行政で共有化を図る。

【今後の検討予定】

◆ 実現に向けた取組イメージ

多様な主体が連携してLRTと一体となったまちづくりを進める上での取組イメージについて検討

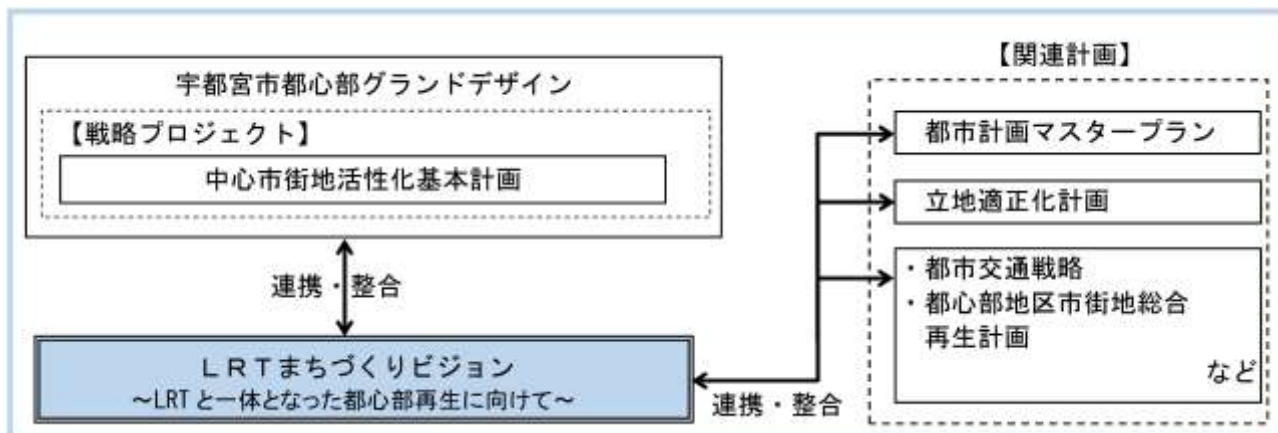
◆ まちづくり実現に向けて

目指すまちの実現に向けて、多様な主体（市民・事業者・行政）の役割分担やまちづくりの進め方について検討

1 ビジョンの背景・目的等（案）

- 本市都心部では、「宇都宮市都心部ランドデザイン」に掲げる2核2軸が連携した「宇都宮の顔」となる都心部まちづくりを推進してきた。
- J R宇都宮駅西側へのLRT導入は、市民・来訪者の新たな移動の足となるばかりでなく、人や車の流れを変え、沿線市街地の再生を促進し、沿線を含むエリア一帯の魅力とポテンシャルを大きく向上させることが見込まれる。
- こうしたことから、LRTの整備効果が最大限に発揮されるよう、J R宇都宮駅西側へのLRT導入を契機とした魅力あるまちづくりが期待される中心市街地等の沿線の目指すまちの姿を描き、それに向かって市民・事業者・行政が協働して取り組むべきまちづくりのビジョンとして策定する。

図 ビジョンの位置付け（関連計画との関係）



2 目指すまちの姿（案）

(1) LRTまちづくりの将来像

本ビジョンは、都心部のより一層の魅力と活力あるまちづくりを進めるための羅針盤となるものであることから、「中心市街地活性化基本計画」の将来像と整合

うごく つながる 心躍る みんなで創る 宮の街なか

(2) LRTまちづくりの方針

将来像実現に向けて、多様な歴史・資源を活用し、新しいまちづくりの要素を取り入れながら取り組む必要があることから、地域資源を生かした、各エリアのストーリー性のあるまちづくりを基本に①ウォークラブル②新技術の活用③多様な主体の連携の3つの視点を持って、沿線の魅力あるまちづくりを推進

全体方針：長い歴史や文化、自然など地域資源を活かしたストーリー性のあるまちづくり

- ① LRTを生かしたウォークラブルなまちづくり
- ② 低炭素化やスマートシティなど新技術等を活用したまちづくり
- ③ 多様な主体が連携したまちづくり（民間と行政の役割分担など）

(3) LRTの整備効果を最大限に発揮したまちづくりを進める上での重要ポイント

LRTは専用の空間となる軌道を走行し、定時性・速達性が確保され所要時間の信頼性が向上
⇒ LRT沿線における拠点間の時間的な距離(心理的な距離)が短縮

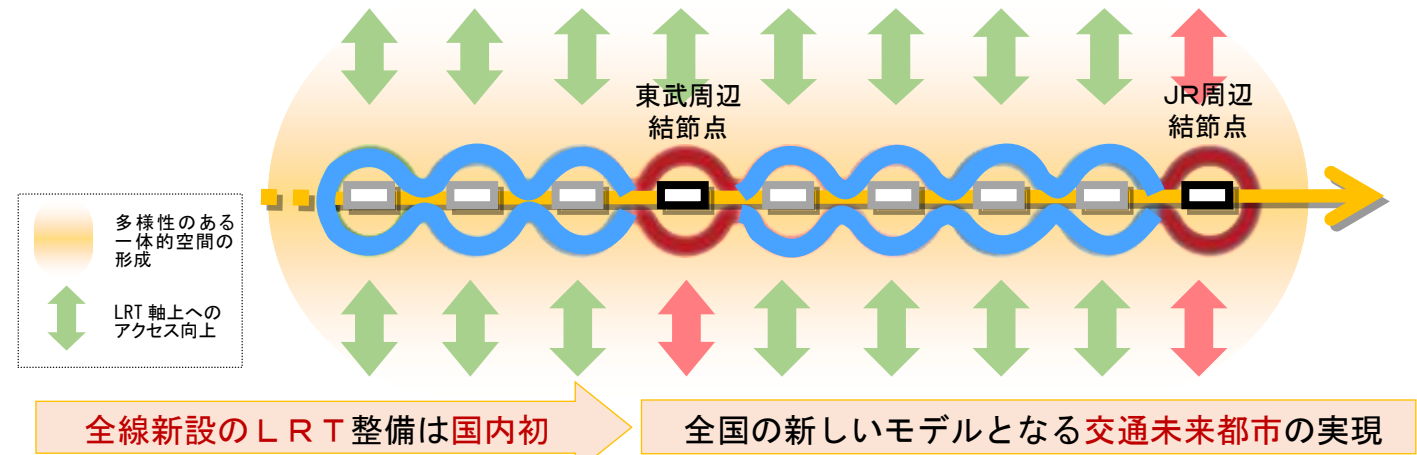
◆ 多様性のある一体的空間の形成

拠点(LRT軸上やその周辺)に高次で多様なまちの機能を充実し、それらの様々なまちの機能を楽しむ魅力ある空間を形成。居心地が良く快適な歩行空間や滞留空間、統一感のある街並み景観などを創出
⇒ LRT沿線で生まれた賑わいや人の流れがオリオン通り等の商店街やさらに周辺に波及。相乗効果でエリア全体の活性化や魅力が向上

◆ LRT軸上へのアクセス向上

周辺地域からLRT軸上(LRT停留場周辺)に気軽にアクセスできる取組(バス、自転車等)を展開
⇒ まちなかだけでなく周辺地域からも充実した多様なまちの機能・魅力を享受できる環境づくりを進めることで、都市全体の魅力を向上

図 LRTを活かしたまちづくりのイメージ



(4) エリア別の将来像（検討中）

J R宇都宮駅西側は、地域の成り立ちに応じて、沿線が商店街や繁華街、オフィス街、文教施設の集積地など多様な特色を有しているため、それらの特色や地域資源、土地利用としてのまとまり等を踏まえた「沿線エリア」と沿線エリアの中で交通結節点等となる「拠点エリア」の設定及びエリア別の将来像を検討中
⇒ 各エリアの特色や資源を活かしたストーリー性のあるまちづくりを進め、それらをLRTでつなげることで、沿線全体の魅力あるまちを実現